

に行くべき道をお話しされました。藤樹先生は沢山の良い言葉を残しておられ、特に「孝」という言葉を大切にされました。人は美しい心を持ち、家族を大切にすること、人としての行いがよく分かったので、これから心がけていきたいです。

「五事を正す」

貌……顔つき

言……言葉づかい

視……まなざし

聴……よく聞く

思……思いやり

「孝行」

家族を大切に

感想

私は、ふるさとウォークを通して、高島市にも遺跡などがあるんだなと思ったり、いろいろ自分の目で見て学べてよかったです。調べるだけじゃ分からなかった所もよく分かったし、藤樹先生の言葉も大切に、毎日過ごしていきたいです。

「ふるさと新聞」

一年 上條 優花

藤樹先生

藤樹先生（よえもん）は、九歳に米子へ、十歳に大洲へ行き、二十七歳に小川へ帰ってきました。先生は、かしくくて、約束を守る人でした。先生が大切にしている字は、「孝」

とって、人や物、環境を大切にするため、大切にしています。他にも、致良知、孝行、知行合一、五事を正す、など大切な言葉もたくさんあります。先生は村の人々に心の勉強を教えてくださいました。

感想

わたしは、ふるさとウォークをして、仲が深まった友達ができました。ふるさとの歴史を学びながら、話したり、自然とふれあったりすることができました。中でも、藤樹先生が大切にしている「孝」を、私も大切にしたいと思いました。この教えを、ひきついでいきたいです。

「高島市の昔」

一年 田中 葉月

中江藤樹先生

藤樹さんの本当の名前は、「原」であだ名が「与右衛門」でした。そして、「藤樹」という名前は、藤樹書院に藤の樹があったから藤樹先生といっています。

この下の写真は、藤樹先生がいた「藤樹書院」です。この建物は、一回火事になって、百四十年ぐらい前にも一回建て直しました。この中の物は、みんな藤樹先生が好きだったから、荷物だけは残そうとして、守ったものです。藤樹先生は、ここでは勉強を教えるというよりも、心のこ



とを生徒たちに教えていました。書院の中には「しんしゅ」というものがある、おぼんになるとれいが帰ってきて「はいしゅ」の横に穴があいているからその中に入ります。そのままおぼんが終わるまでいて、終わると出ていきます。この「しんしゅ」がないとどこかに行ってしまう。生き物も全部続くことが大事とい、このことを「孝」と呼んでいました。藤樹先生は「人を大事にしよう」と教えました。

感想

白鬚神社から湖西中まで歩いて思っていたよりも長かったけれど、いつも車で通っている道だから景色がちがったのでおもしろかったです。

神社、お城、古墳、藤樹先生それぞれ高島の昔のことだから、この機会に学べて本当によかったです。これからもいかしていけるようにしたいです。



地域の方が、焼き芋等で迎えてくださった

★中学生一人ひとり表現は異なりますが、みんな謙虚に、要点を的確に受け止めていることに感動しました。

④参考資料（次項）

◎事後学習指導案（道徳）

「中江藤樹の『孝』」USDS